

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービスみっかな

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

2月

1日

法人（事業所）理念		子どものために、お父さんお母さんのために、地域のために					
支援方針		○地域と一体となって、子どもの成長発達を見守ります。 ○保護者の希望や困り感を把握して、適切な発達支援を行います。 ○子どもは楽しく、保護者は一息つけられるような居場所を提供します。					
営業時間		9時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
本人支援	健康・生活	○保護者から自宅での状況を伺いながら、子どもの生活や食の習慣等の課題についてお聞きします。 ○その課題を改善できるような取り組みや、きっかけを練習できるような療育課題の設定を行います。					
	運動・感覚	○粗大運動、微細運動、協調運動など、様々なところで苦手さを感じている子どもに対して、楽しみながら運動の経験ができるよう支援します。 ○過敏さや鈍麻などの感覚について課題がみられる時には、本人の気持ちを尊重しながら代替や軽減できる方法を模索していきます。					
	認知・行動	○子どもの見ていることや感じていることなどを適切に把握しながら、周囲の環境や状況と照らし合わせて適切に行動できるように支援します。 ○目に見えないもの（時間や空間、気持ちなど）の概念形成の助長や適切な情報処理を促します。					
	言語 コミュニケーション	○子どもの発達の状況に応じ、言葉を広げて深めることができるよう支援します。 ○言葉の使い方や表現方法など、場面に即して上手に表現することができるよう支援します。 ○自身の思いや気持ちを表現できる手段を模索して、意思の伝達が上手にできるよう支援します。					
	人間関係 社会性	○担当職員のみではなく様々な職員との遊びを通じて、コミュニケーションの基礎の練習ができるよう支援します。 ○個別療育と小集団活動を併せて行うことで、集団場面での立ち居振る舞いの練習ができるよう支援します。					
家族支援	○療育の際以外にも別途相談の機会を設けて、自宅での詳しい状況やご家族の思いなどをお聞きし、事業所での様子やその他の情報も踏まえて当面の目標設定や具体的に実践できそうな事柄などを一緒に考えます。			移行支援	○未就園児については就園が決定するまでの期間、受け入れが可能な範囲において保育機関と似たような時間帯で、母子分離や昼食、排泄の練習などができるよう支援します。		
地域支援・地域連携	○地域の保育園の先生との情報交換をしたり、園の子どもたちが事業所に遊びに来る機会も設けています。			職員の質の向上	○ZOOMでの研修への参加を中心としていますが、職員間で情報交換を行いケースワークや対応について話し合いを適宜行っています。		
主な行事等		○町内子育てサポートセンターと共同してのおさがり会や茶話会の実施、作品展などへの出展など					